

## **(2) 協議会におけるこれまでの取組 (実績)**

# 3. 協議会におけるこれまでの取組（実績）

## ホームページの設立・運営（2020年3月～2021年12月）

物流TDMの取組、個別コンサルティング等を紹介

### ○コンテンツ

- ・業種ごとの取組事例（動画含む）
- ・個別コンサルティング・勉強会申込
- ・webセミナー
- ・物流TDM協議会公表資料
- ・荷主向け文書



TOPページ

## 啓発グッズの作成・配布

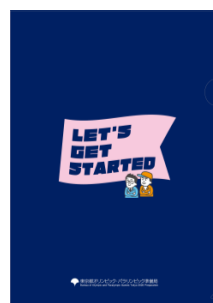
物流TDMの普及啓発のため、中小企業・個人事業主向けのグッズを作成し、関係団体を通じて配布

### ○グッズ

- ・クリアファイル : 約2万5千部
- ・マルチケース : 約4万5千部
- ・ポケットティッシュ : 約1万部

### ○主な配布先

- ・2020物流TDM実行協議会委員
- ・きらぼしフィナンシャルグループ
- ・東京都立産業技術大学院大学
- ・個人タクシー協会
- ・非競技会場（OFH,PFH,UAC等）
- ・都庁各局及び事業所



クリアファイル



マルチホルダー



ポケットティッシュ

マルチホルダーを引き続きお配りしています。  
ご希望の方は、協議会事務局までご連絡ください

# 3. 協議会におけるこれまでの取組（実績）

## チラシの作成・配布

大会時に想定される影響、業種別の対策と支援策等を周知

- 配布部数 : 約1万部
- 配布先 : 都内中小企業・個人事業主  
競技会場周辺の商店街等

## 協議会委員による広報

協議会委員にご協力いただき、各団体の広報物へチラシ等を掲載

- 東京都商店街振興組合連合会  
「商店街ニュース」にチラシを掲載
- 東京都中小企業団体中央会  
ホームページ、「中小企業だより」にチラシを掲載

## コンサルティング・勉強会

各社の事情を踏まえた物流TDMのコンサルティング、地域特性を踏まえた商店街単位の勉強会等を実施

- 個別コンサルティング : 計103件
  - 専門コンサルティング : 計11件
  - 勉強会 : 計6件
- ※) 令和3年9月10日時点

This block contains several promotional materials:

- 東京2020大会カレンダー**: A calendar showing the dates for the Tokyo 2020 Olympic Games (July 23 - August 8) and Paralympic Games (August 25 - September 6).
- TDM推進プロジェクト**: Information about the TDM (Tokyo Delivery Method) project, including a QR code for more details.
- 東京都ポータルサイト**: Information about the Tokyo Portal Site, which provides updates on the TDM project.
- 中小企業・商店街の皆様へ 大会に向けた準備を始めましょう**: A flyer for small businesses and shop streets, encouraging them to prepare for the games. It includes a QR code and contact information.
- 大会期間中の交通対策について**: Information about traffic measures during the games, including a QR code for more details.
- 事業者の皆様へ予想される影響**: Information about the expected impact on businesses during the games, including a QR code for more details.

This flyer provides specific requests for small businesses and shop streets during the Tokyo 2020 Olympics and Paralympics:

- 飲食店・小売店/卸売業者**: Requests for advance notice of special events, advance notice of product changes, and advance notice of delivery method changes.
- 製造業・メーカー**: Requests for advance notice of special events, advance notice of product changes, and advance notice of delivery method changes.
- 運輸業者**: Requests for advance notice of route changes and advance notice of delivery method changes.
- 大会期間中の情報提供**: Requests for advance notice of information provided during the games.

The flyer also includes a QR code and contact information for the Tokyo 2020 Logistics TDM Executive Council.

配布用チラシ (A3二つ折りタイプ)

# 3. 協議会におけるこれまでの取組（実績）

## 「未来につながる物流」認定・表彰

物流効率化に向けた意欲的・先進的な取組を「未来につながる物流」として認定・表彰

- 募集期間  
令和3年5月25日～6月21日
- 募集内容  
大会に資する物流効率化の取組
- 認定団体  
14団体
- 表彰団体※（五十音順）
  - ・株式会社アップクオリティ
  - ・株式会社ゲイト、
  - ・株式会社ミノダ
  - ・新宿EAST魅力あふれる街創り有志懇談会、
  - ・株式会社NTSロジ※）認定団体のうち、特に優れた取組について表彰
- 表彰式（東京都知事による表彰）  
令和3年7月7日 都庁第一本庁舎7階ホール



募集チラシ



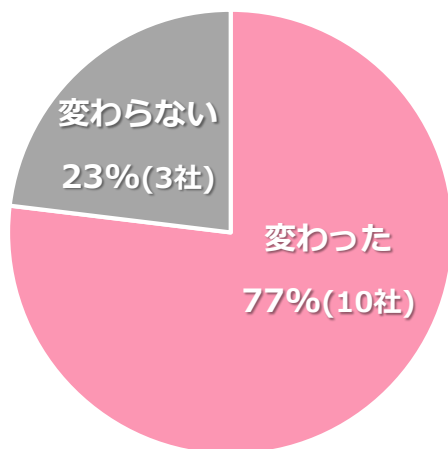
表彰式の様子

募集にあたっては、委員の皆様など多くのご協力をいただきました

（ご協力いただいた例）

商店街ニュース、トラック時報、東京都中小企業団体中央会HP、カーゴニュース など

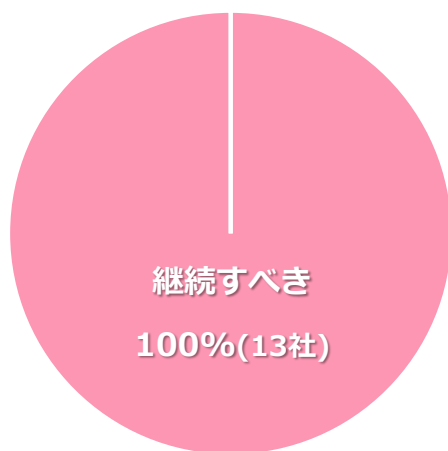
Q1 「未来につながる物流」で認定されたことにより、貴社を取り巻く環境や周囲の反応に変化はありましたか



➤ 「変わった」と回答した団体の主な意見

- ・ 同業他社から多数の問い合わせや祝辞、マスコミからの取材等があった
- ・ 地元自治体や他事業者の協力を得やすくなった
- ・ 更なる物流効率化や環境負荷低減の取組に一層注力するきっかけになった

Q2 「未来につながる物流」認定制度について、今後も継続すべきだと思いますか



➤ 「継続すべき」と回答した主な理由

- ・ 今後も物流の安定した稼働と効率化は必要不可欠であるため
- ・ 人材不足という社会問題に対応していく必要があるから
- ・ 物流は日常的に行われているが、このような制度が改めて物流の実態を把握し、見直す機会に繋がると感じた
- ・ 一つ一つの気づきが大きな変化に繋がるため
- ・ こうした制度を通じて、機運を醸成し、物流TDMの取組企業を増やしていくべき

※ 「未来につながる物流」認定14団体のうち、13団体が回答



■ 受賞時の声

・表彰をいただいて感激。表彰を胸に、東京の物流を支える一翼を担えるように精進したい。「未来につながる物流」を意識して今後も活動していきたい。

・我々の地道な活動がこのような表彰を受けるのはあまりないものなので、素直に嬉しかった

・今回の受賞をきっかけに、業界の在り方などについても構造改革を進める良い機会となった

<以下メールより抜粋>

「今回の認定で弊社のプレゼンスが大きく向上致しました。弊社の取り組みに関しまして、読売新聞全国版朝刊に関連記事が掲載されました。大変光栄な事だと喜んでおります。

荷主、運送会社とも、共同配送の難しさを痛感されている状況のようですが、今後、弊社取り組みが理解、認識され、まさに未来につながる物流の大きな潮流になるよう尽力する所存です」

8/1  
読売新聞

# 共同配送の動き鈍く

国や東京都、大会組織委員会の3者は交通量抑制を  
目指し、ロードプライシング  
以外にも、「共同配送」  
の促進を物流事業者や荷主  
に呼びかけている。  
共同配送は、複数の荷主  
から依頼された荷物を同じ  
トラックで運ぶ取り組み。  
省エネルギーやドライバー  
不足解消の観点から求めら  
れており、2016年に施  
行された改正物流総合効率  
化法で事業者への支援措置

も盛り込まれた。

化学品メーカー「共栄社  
化学」（大阪市）は、滋賀  
県内にある自社工場の近隣  
企業に呼びかけ、東京方面  
などに運ぶ約10社の荷物を  
集約し、できるだけ少ない  
トラックで輸送している。

08年のリーマン・ショック  
後に輸送コストの削減が  
共通課題となったことから  
導入し、東京大会では、大  
会運営に貢献する企業に選

はれた。

ただ、3者からの要請に  
対し、事業者の反応は鈍い。  
事業者はそれぞれのノウハウ  
で効率化を図っているう  
え、共同配送で荷主の細か  
い要望に応えにくくなる面  
があるという。トランプ発  
生時の責任の所在が問題と  
なる可能性もあり、ハード  
ルは高い。

大手運送会社は「五輪が  
始まった後も混雑は通常とさ  
ほど変わらず、共同配送を  
迫られている状況ではな  
い」と話した。

（社会部 越村格）

# 3. 協議会におけるこれまでの取組（実績）

## WEBセミナー

中小企業や個人事業主を対象としたWEBセミナーを計2回実施。計133名が参加

### ➤ 第1回（令和3年5月13日開催）

第1部：基調講演

「戸越銀座商店街のコロナウイルス対策とこれからの取組」（戸越銀座商店街連合会 亀井専務理事）

「東京2020大会輸送に係る検討状況について」（東京都オリンピック・パラリンピック準備局）

第2部：パネルディスカッション

「コロナ禍における中小企業の物流効率化～物流効率化を通じたサプライチェーンの互惠作用とは～」

（東京都、東京都中小企業診断士協会、株式会社ゲイト、戸越銀座商店街連合会）

### ➤ 第2回（令和3年7月14日開催）

第1部：基調講演

「『未来につながる物流』の認定・表彰について」

（東京海洋大学 苦瀬 博仁 名誉教授）

第2部：事例紹介及び質疑応答

「表彰企業による事例紹介及び質疑応答」

（株式会社アップクオリティ、株式会社ゲイト、株式会社ミノダ、新宿EAST魅力あふれる街創り有志懇談会、株式会社NTSロジ）



第1回WEBセミナーの様子